

**国際映画祭で注目されている『Future is MINE -アイヌ、私の声-』
監督を務めた富田が奨励新人賞を受賞！**
- 第36回 ATP 賞テレビグランプリ 奨励新人賞 -

株式会社3ミニッツ(本社：東京都新宿区、代表取締役社長兼 CEO：松田昌賢、グリー株式会社100%子会社、以下「3ミニッツ」)が運営するファッション動画マガジン「MINE(マイン)」にて制作した、女性のエンパワーメントを目的とする短編ドキュメンタリー『Future is MINE -アイヌ、私の声-』の監督を務めた富田が、「第36回 ATP 賞テレビグランプリ」にて奨励新人賞として選出されたことをお知らせします。



“Short Shorts Film Festival & Asia 2020”、“ゆうばり国際ファンタスティック映画祭 2020 Powered by Hulu”と“Japan Connects Hollywood 2020”での Official Selection に続き、『Future is MINE -アイヌ、私の声-』の監督を務めた富田大智が「第36回 ATP 賞テレビグランプリ」にて奨励新人賞に選出されました。受賞式の模様は12月1日(金)17時～にNHK BS プレミアムにて放送予定。

(※) 放送は予告なく急遽変更する場合がございますのでご了承ください。

■審査講評 コメント

現代に生きる多くの人にとってあまり身近な存在ではない「アイヌ」を、映像美とスタイリッシュな編集によって見やすい形で提示してくれた作品。また対象者が実際にフロリダの原住民と触れ合いアイヌのアイデンティティを強めるというストーリー構成は、アイヌ民族をよりグローバルな目線で伝えるだけでなく、民族・人種の垣根を超え世界誰しものが持つ「自分のアイデンティティ」という普遍的なテーマとも連動した。

-岩崎 マリエ氏

■監督 コメント

この度はこのような賞を頂き、誠にありがとうございます。

制作したドキュメンタリーが人に届いているという実感を得られるのは幸せなことです。今作は多くの方に嬉しい感想も頂きました。

本作の主演である萱野りえさんと初めてお会いして、お話を伺った時に感じたのは、萱野さんの物語が普遍的で、多くの人が自分ごととして共有できるものであるということです。なので、あくまで軸は萱野さんに、その物語の中心に萱野さんのルーツであるアイヌがある、というバランスを意識しました。萱野さんには、人生の一部をカメラの前で見せてくださったことを改めて感謝したいと思います。

■『Future is MINE -アイヌ、私の声-』 作品概要



北海道・二風谷に住むアイヌの女性、萱野りえさんは、アイヌが多く暮らす北海道・阿寒湖に生まれ、アイヌの唄や踊りに囲まれて育ちました。成長してゆく中で、アイヌである自分を嫌になったことがありました。信頼できる友人との出会いをキッカケに、アイヌ語で歌うボーカルグループ「MAREWREW」の一員として、再びアイヌ文化と共に歩み始めます。しかし、自分の活動に限界を感じ、いつしか自信を失っていったのです。

結婚・出産を経験し、めまぐるしく過ぎゆく日々の中で、時間に限りがあることに焦りを感じたりえさん。一瞬立ち止まったときに湧き上がってきたのは、やはり自分のルーツであるアイヌへの想いでした。そんなとき、米国フロリダ州南部に居住する先住民・セミノール族の人々との交流するチャンスが訪れます。同じ先住民として独自の文化を持つ彼らの姿に、彼女は何を学び、何を見出したのでしょうか。

Future is MINE -アイヌ、私の声-

YouTube: <https://www.youtube.com/watch?v=QQPqHGG5NGc&feature=youtu.be>

■出演者プロフィール

萱野 りえ

北海道の阿寒湖アイヌコタン(現釧路市阿寒町阿寒湖温泉)の生まれ。アイヌの学者であり、アイヌ神話の翻訳者である山本多助氏を祖父に持ち、アイヌ古式舞踊などアイヌ文化に触れながら育つ。アイヌ文化の担い手を育てる札幌大学「ウレシパクラブ」(※)第1期生、アイヌ民族文化財団「伝承者育成事業」の第3期生として自らアイヌ文化を学び、アイヌ語で歌うボーカルグループ「MAREWREW」の一員としても活躍。

現在は、同じアイヌの血を引く夫との間に一女をもうけ、北海道平取町にてゲストハウスで働きながら、アイヌ文化の普及に努めている。

(※)「シ」は、アイヌ語のカタカナ表記では字体を小さくします。

■監督

富田 大智

CM、MVなどのプロダクションマネージャーを経て、株式会社3Minuteへ。WEBCMやブランデッドコンテンツの演出やショートドラマでの脚本、監督を務める。今作は『Future is MINE アイヌ、私の声』を監督し、ATP賞テレビグランプリ奨励新人賞受賞。

現在は、初の短編映画監督作『秘密のフレグランス』の制作支援クラウドファンディングを実施中。

<https://camp-fire.jp/projects/view/338458>



■エグゼクティブプロデューサー

チュック ベッシャー

神戸市生まれ、日本国籍。これまで外資系企業などで、政策渉外・マーケティング・メディア・エンタメのプロデュースに携わり、株式会社3Minuteのエグゼクティブプロデューサーに就任。2017年にFuture is MINEを発起。コロンビア大学 国際関係・公共政策大学院(School of International and Public Affairs)、日本問題及びインターナショナル・コミュニケーション専攻にて修士課程修了。



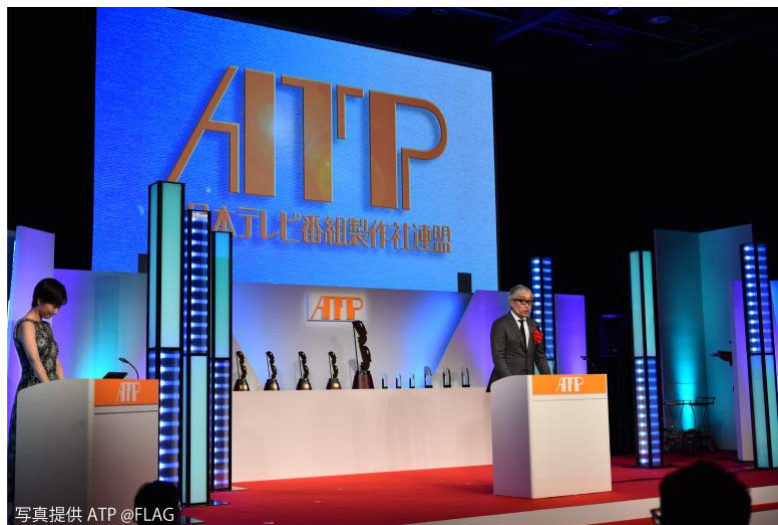
■Future is MINE とは

Future is MINE は、女性のエンパワーメントを応援するドキュメンタリーコンテンツです。

「幸せは自分で決める」をテーマに、自ら未来を切り開きたいと願う女性たちが、旅や人々との交流を通して成長する様子を描き出します。

女性の社会進出が叫ばれる昨今。自分らしく生きたいと願うものの、様々な障害に直面し、なかなか一歩を踏み出せない女性たちが多くいるのも事実です。自分の将来や混沌とした社会に不安を抱えている女性たちの共感を呼び、さらには、自分らしく輝く未来へと後押しするコンテンツを目指します。

■ATP(全日本テレビ番組製作社連盟)賞テレビグランプリとは



ATPでは、製作会社の社会的機能を高め、制作スタッフ一人ひとりの情熱や気概に応えるために、創り手である製作会社のプロデューサーやディレクターが自ら審査委員となって優れた作品を選ぶ、日本で唯一の賞として1984年に「ATP賞」を創設しました。

ドラマ部門、ドキュメンタリー部門、情報・バラエティ部門の3つのジャンルで作品を募集し、毎年100本を超える応募作品の中から、グランプリ、最優秀賞、優秀賞などが選ばれます。

■第36回 ATP 賞テレビグランプリ受賞式放送詳細

放送日時：12月1日(金)17時～

放送局：NHK BS プレミアム

ATP 公式ウェブサイト：<http://www.atp.or.jp/>

※放送は予告なく急遽変更する場合がございますのでご了承ください。